

広 報

ふじかわ

9 月 号

昭和62年 9 月 5 日 発行

No. 3 1 4

町 の メ モ

昭和62年 3 月 1 日 現在

人 口	16,953人
増 減	+5人
男	8,356人
女	8,597人
世帯数	4,421世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵121



ラジオの声に1・2・3

(NHK巡回ラジオ体操より)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

写真で綴る

第一回ふじかわ夏まつり

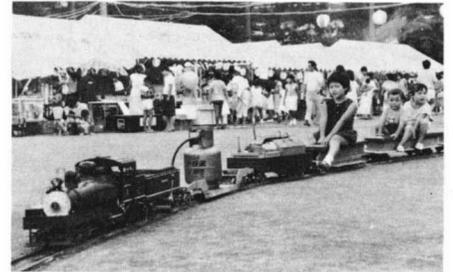
豆力士も力が入ります

第一回ふじかわ夏まつりが八月九・十日の両日、富士川町立第一中学校グラウンドで行なわれました。会場は延べ五万人の人で賑わい、終始、和やかな雰囲気包まれ、二十一世紀へ向けてのコミュニケーションの場がで上がりました。

九日は九時三十分からオープニング・セレモニーが始まり、運営委員長・常葉雅文町長と実行委員長・望月貞彦商工会長の挨拶のあと、風船が大空高く放たれ、農協提供の紅白の投げもちがまかれ、ふじかわ夏まつりの幕が上がりました。

昼の部は社会福祉協議会の「ふれあい広場」を中心に、ちびっこすもう大会では、ふんどしを締めた小学生が力の入った勝負を展開し、ミニSもたくさんの子どもを乗せ、黒い煙をはきながら走っていました。

ミニS Lがちびっ子の人気の的



親子のほほえましい光景が



鮮やかな色彩の祭典



会場にはたくさんの人がつめかけた

広報ふじかわ



夜は納涼夜店市が並び、旭町祇園ばやし保存会のおはやしにあわせ、坂下・相生町・上町・舟山町・旭町の各地区のみこしがグラウンド内を練り歩き、富士市かりがね護所太鼓保存会の勇壮な太鼓の音が響き渡る頃には、日もたつぷり暮れ、まつりの雰囲気は最高潮に達しました。クライマックスの花火大会には、堤防やグラウンドに人があふれ、スターマインやナイヤガラなど千発の花火が富士川の上に炸裂し、鮮やかに真夏の夜を飾りました。

みんなそろってラジオ体操



「ふれあい広場」でも多くの模擬店が並びました



ファミコン大会は子どもの天国



おみこしもお祭りを盛り上げました



ステージではジャズコンサートも



さいとうまりさんにもこやかにサインに応じます



まちの広場

ふるさと学級生 竹いかだで川下り



ロマンと冒険の旅立ちに

七月二十五日(木)木島地先の富士川で、「ふるさと学級」の児童とその父母六十人は、いかだとボートによる川下りに挑戦、澄みきつた空に歓声がこだましました。

これは、富士川のいかだ下りを再現し、舟運の歴史を子どもたちに味わってもらい、川遊びを通して富士川の自然に触れ、ふるさとの川のすばらしさを体験することを目的に、五年目を迎えています。

ライフジャケットを着こんだ児童は、上手にオールを操り、川下りを十分に満喫し、自然環境に恵まれたふるさとの良さを改めて感じとっているようでした。

渡辺清さんを追悼 家族で遺作展

渡辺清追悼展が八月十八日(火)から二十三日(日)まで、静岡市のガスサロンで開催されました。

会場には「あんずの里」など十五点の作品と共に、長女上野明子さん(四七)の小学生時代の絵日記も展示され、当時の様子や父との生活が、子どもらしい表現で描かれていました。

「父が死んでから三年が過ぎ、節目を迎えて残された作品にも日の目をあて、多くの人に見てもらいたい」と明子さんは話していました。



故渡辺さんの作品と家族のみなさん

消費生活講座料理講習会開催

七月三十日(木)午後七時から、町立第一中学校校調理室で、講師に斉藤和子(相生町)さんを招いて、「暑い夏をのりきるための冷たい料理、あたたかい料理」と題し、婦人会を中心に四十人の主婦を集め、料理講習会が開かれました。



汗だくで料理に取り組むお母さん

盆おどり各地区でにぎやかに

八月十四日から十六日にかけて各地区で盆おどりが行なわれ、ゆかた姿の親子など、暑さを忘れて、踊りに熱中していました。



ゆかた姿が涼しそう(東町・日の出町盆おどり)

不用な粗大ごみを収集処分

八月十二日から十六日まで粗大ごみを、富士川・松野の二会場で集めたところ、予想をはるかに越え、百五十トの粗大ごみが出ました。

この粗大ごみの中には、まだ使えるテレビや冷蔵庫などがあり、粗大ごみを捨てて来た人が、ほかの使えそうなものを持ち帰る姿も多く見られました。このごみは二週間かけ、業者によって埋立処分されました。



こんなに大きな山になりました

富士川の川供養

大北区―川カンジ―
木島区―投松明

八月十四日(金)大北区の「川カンジ」、八月十六日(日)木島区の「投松明」のお盆の恒例の行事が行なわれました。



親子の絆も強まります



自然とのふれあいファミリー・キャンプ

八月一日(土)・二日(日)の二日間、野田山健康緑地公園金丸山広場で、親子ファミリー・キャンプが行なわれました。

このキャンプは、自然の中で家族キャンプを体験することにより、親子の対話を深め、家族間の交流を広げることを目的に、町教育委員会の主催で、昨年からはまりました。

会場には、午後一時から

十八家族、七十人が集まり、テントを設営した後、餅つきをしたり、おみこしをみんなで協力して作りました。キャンプファイヤーは、あいにくの霧雨でしたが、火を囲み、歌を歌ったり、フォークダンスをして、親睦を深めました。

参加者のみなさんは、自然の中のキャンプを堪能し、来年の再会を約束して、山を降りていきました。

夏休み親子納涼 映画会が人気

七月二十五日(土)、八月二十一日(金)、午後七時から中央公民館屋外広場において、「ドラゴンボール」、「アラレちゃん」が上演されました。

会場は二百五十人の親子で満員となり、空にきらめく星の下で、かき氷を食べながら、特設の大型スクリーンに浮かぶ映画を夢中になって見ていました。



野外での映画は最高です

田中祐三氏逝去



田中祐三氏 (63)
東京在住

坂下出身のエッセイストとして長い間、活躍されていた田中祐三氏が、去る七月二十二日逝去されました。謹んで心からごめい福をお祈りいたします。

地震への備え、万全ですか？

総合防災訓練は9月1日と12月6日です



今年も東海地震を想定した総合防災訓練が九月一日(火)に行なわれました。

総合防災訓練は年二回に分けて実施され、九月一日は東海地震の予知を想定し、県下一斉に「広域防災訓練」が情報伝達訓練を中心に行なわれました。十月六日には突然発生地震を想定し、各地域が実情に即して地域ごとに実施する「地域防災訓練」を、自主防災組織や家庭を中心に行う予定です。

今回の訓練は、国、県、町、防災関係機関、学校、病院、事業所等が一体となった実践的訓練で、観測値の異常発見から、「判定会」の招集、「警戒宣言」の発令、地震発生の流れの中で、参加機関相互の協力体制を確立すると共に、防災意識を高めるように実施されました。

地震に限らず、いざというとき、あわてないためにも、日頃から防災について対策をたてておくことも必要です。これを機会に家族みんなで家庭の防災会や訓練をして、家庭内の防災対策について、だれが分担し、どのような行動をとるかなど、家族全員の話し合いをもつたらどうですか。

〈当日このような訓練が行なわれました〉

判定会招集 (午前7時00分)

気象庁は、御前崎・浜岡・榛原・静岡の歪み計に異常な変化が観測され、駿河湾南方沖に地震が多発しているため、「判定会」を招集した。

警戒宣言発令 (午前8時50分)

気象庁長官から、地震予知情報の報告を受けた内閣総理大臣は、直ちに閣議に図り、午前8時50分地震防災対策強化地域に関する警戒宣言を発令した。

地震発生 (午前10時00分) 1日経過を想定

駿河湾を震源域とするマグニチュード8の大規模な地震が発生し、県内各地は震度6以上の揺れに襲われ、駿河湾一帯には津波が襲来した。

この地震により、県内全域にわたり、家屋の倒壊・山崩れ・崖崩れ・道路の損壊・橋りょうの落下等の被害が発生、多数の死傷者が生じ、交通機関・電気・ガス・水道・電話等の施設に大きな被害が発生した。

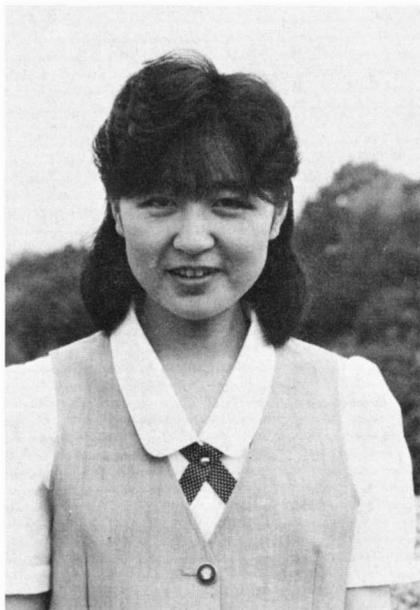
- 県からのFAX一斉指令により判定会招集情報の受理
- 警戒本部要員の招集→緊急会議
- 消防団各分団長の非常招集
- 町内の社会秩序の状況を把握
- 県防災行政無線、ラジオ、テレビにより情報を覚知
- 「富士川町地震災害警戒本部」を設置
- 消防団・役場から、サイレンの吹鳴
- 同報無線、町広報車による「警戒宣言」発令の広報
- 「災害対策本部」の設置
- 町内巡回パトロール
- 消防団各分団管轄地域パトロール

マドンナ紹介

木伏則江さん (18才)

(富士見町)

リバー富士カントリークラブ勤務



木伏さんは、今年の四月に入社し、フロントでリバー富士C・Cの顔として、毎日笑顔で接客に応じています。最初は、おどおどしていましたが、最近は積極的におどおどしていき、諸先輩にも恵まれ、毎日、和気あいあいと楽しく仕事をしています。「気は優しく、力持ち。まだ充分に仕事に慣れていませんが、お客様の評判もいいですよ」と営業課長は評価しています。

趣味はレコード鑑賞とドライブ。愛車「マーチ・ターボ」を駆使し、あちこち車走らせています。この夏、愛車で清里に行き、テニスで快適な汗を流し、ペンションに泊まり、優雅な夏休みを過ごしました。先日行なわれたレディースゴルフを見て、非常に興奮したので、これからゴルフを練習し、私も女子プロみたいな恰好よく、フェア・ウェイを歩いてみたい」と話してくれました。



歳時記 夜長

「秋の夜長」などと言うとおり、夜長は秋の季節です。春は日永、夏は短夜、秋は夜長、冬は短日という季節がよく使われています。これを見ておかしと思う方もいるでしょう。夏は夜が短く、冬は日が短いことは確かです。はつきりとした対称になっているのはわかります。しかし、春と秋は昼と夜の長さがだいたい同じで、一概にどちらが長いとか短いとかいえないかな。

夏の暑さが去ったさわやかな秋の夜は、読書などに熱中してしまいがちですが、夏バテの回復のためにも睡眠は十分にとりましょう。九月は「健康増進普及運動」の月です。栄養、運動と共に休養も大切です。



8月の交通事故

人身事故	9件 (10)	合計	18件 (20)
物損事故	9件 (10)		
富士川身延線	2件 (7)		
国道一号线	5件 (9)		
町道	9件 (3)		
県道	0件 (1)		
その他	2件 (0)		

()は昨年

戸籍の窓

S 62・7・15〜8・14届出分

(敬称略)

堺町	志村真美	久	長女
川坂	渡邊珠希	光章	長女
四十九町	入月愛香	郁夫	長女
宮町	齋藤高史	佐重喜	三男
小池	野澤容平	正敏	二男
上町	須藤翔哉	哲司	長男
舟山町	鈴木里奈	章司	二女
旭町	内川雄一	久雄	長男
旭町	後藤晃	元	長男
南町一	田邊深智	盟博	二女
南町二	渡辺実希	敏夫	長女
東町二	望月順次郎	保坂ナカ	八四

かなしみ

富士松野	渡部しおり	信一	二女
富士松野	大石翼	靖彦	長男
富士松野	宇佐美景子	通夫	長女
区名	氏名	年齢	
木島	佐藤保	六四	
上町	勝呂政子	八四	
旭町	望月より	八八	
四十九町	丸山慶蔵	七三	
大業窪	望月直也	一	
本通一	望月順次郎	九一	
東町二	保坂ナカ	八四	

お母さんの知恵袋

パセリの効用

パセリは、鮮やかな緑色と形が美しいため、西洋料理を初め、あらゆる料理の引き立て役とし、色彩的に用いられています。しかし、パセリは飾りではありませぬ。

栄養面に注目すると、成分としては、特に鉄(無機質)とカロチン、ビタミンC、B₁、B₂、Eと多く、カルシウムと鉄分はほうれん草の三倍も含まれており、緑黄色野菜の中では王様です。

細かくきざんでさらし、パセリとしてスープやサラダ・スパゲティ・ご飯などに用いると、色どりや風味が増します。肉・魚料理には、香味野菜の役割も果たし、衣を少々つけて揚げる時色・香り共に保持され、フライの付け合せにも最高です。パセリは一度に多量に食べるものではありませんが、パセリを見直し、これからは食べるよう、心がけましょう。

〈文協俳句会〉

- 八幡町 西森千鶴江
- 堂守の墓碑を埋むる夏蕨
- 南町一 望月美奈子
- 花茨ゆれをり遠き発破音
- 東町二 加藤 京子
- ゴーガンを見し身のほてり青嵐
- 上町 齊藤つね子
- 片蔭をひろい歩きに下校の児
- 富士見町 清水 淑子
- くちなしの匂ふ小径の行き止り
- 東町二 望月 喜子
- さくらんぼ雫を受けるごとく掌に
- 大北町 川崎 麻子
- 万病によしと滴りふふみけり
- 富士見町 錦織 好江
- 炎昼や抜け落ちそうな犬の舌
- 清水町 白井滋賀子
- 南瓜蔓一夜に畦を越えにけり
- 八幡町 白井十世子
- 炎昼や土橋の下ゆ水の音
- 八幡町 鈴木りつ子
- 遠雷や洗濯物に風つりの
- 堺町 伊東す江の
- 柿田川水ゆたに湧き糸蜻蛉
- 富士見町 清水 寿枝
- 門灯の届かぬ辺り虫しぐれ
- 大北町 宇佐美フク
- 晩学の古典に励む夜の秋

一里塚



今年の夏の思い出、一つは第一回ふじかわ夏まつりが盛大におこなわれた事、前日どしゃぶりの一中グラウンドでのテント張り、当日盛りだくさんのスケジュール、夜堤防からこぼれ落ちそうな人出の中での花火大会、そして終ってみたらゴミの山……まつりやイベントばやりの昨今大きな勉強をいたしました。

二つめは、四才の長女と富士川で泳いだこと、僕は小さい頃北松野の舟戸で泳ぎ育ちました。が、一時の水の汚れも少なくな

り、今夏は子供達の水泳姿がよく見られるようになりました。焼けついた河原の砂を踏んで川に入ると、流れがこころよく僕達を包みました。長女にうきわをつけ、富士川をゆつくり下つていくと、ふと、自分がこの流れを初めて泳いで渡りきった日の事が、鮮やかに思い出されました。そして、この日の事を長女がいつの日か、懐しく思い出することがあるかもしれないなどと考えました。

七月にお亡くなりになった田中祐三先生が、自分の生れ育つたふるさとで、自分の子供を大きくできることは、何ともうらやましい、というお便りをくだ

さったことがありました。僕の小さかった頃と今では、まちな大きな変化をしましたが、豊かな自然と、あたたかい心を、子供達に残してやりたいと思います。

町への寄付金(敬称略) S・61・7・23〜8・26

- 百万円 社会福祉事業へ
- 大村 正敏(上町)
- 五万円 老人福祉事業へ
- 田中 昭(座間市)
- 二万九百四十円
- フジマンドリンクフエステイバル
- 社会福祉事業寄付金(敬称略)
- 七万八千三百二十五円
- ふれあい広場模擬店
- 更生保護婦人会他四件

食推協若鮎グループ 深澤